人材育成	集落コミュ	特産品の活用	鳥獣被害防止	バイオマス	都市農山交流	地産地消	農商工連携	企業参入
					○			

名称	となみ散居村ミュージアム　民具館
所在地	富山県砺波市太郎丸80番地
連絡先	ＴＥＬ０７６３－３４－７１８０　ＦＡＸ０７６３－３４－７１８２ 砺波市商工農林部となみ散居村ミュージアム

豊かな自然(散居村)と地域伝統文化を活用した都市農村交流施設

富山県の西部に広がる砺波平野の中央に位置し、庄川と小矢部川によって形成された複合扇状地であり、緑豊かな屋敷林に囲まれた家々が点在する典型的な散居村です。
その美しい散居景観は、日本の稲作農村を代表する景観のひとつといえます。
砺波地方で昔から使われていた民具を展示することで、庶民の生活の知恵や暮らし、歴史について、地域の人のみならず市内外の方にも興味深く学んでもらう事を目的として、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金にて民具館の整備を行い、平成21年にオープンしました。

1. 具体的な取組内容

となみ散居村ミュージアム

民具館

・昔の農具や生活道具を展示する「民具館」を整備

(散居風景)

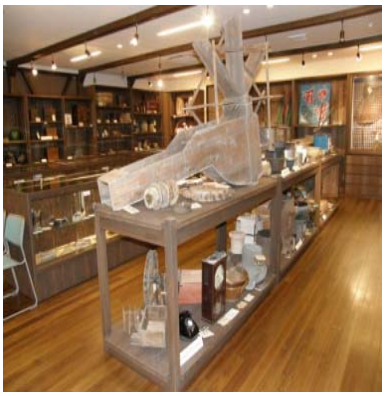
2. 導入事業や活用した地域資源

導入事業	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 (都市農山漁村総合交流促進施設)
活用している地域資源	・木造建築物 (旧小学校校舎を移築) ・民具　約1万点 (地域住民からの寄贈)

3．取り組みの経緯

○活動のきっかけ
・H18年度、市に「となみ散居村ミュージアム」が建設され、美しい散居村風景や伝統文化の継承に努めている。
・施設内に生産活動に用いられてきた農具、民具（砺波市文化財指定）の使い方、歴史的意義を学ぶ学習施設が不足。

小学生の民具学習



衣食住・生活用具の展示

砺波地方の稲作農具

4．期待される地域経済への効果等

・地元の特産品を用いたイベントや、地区に広がる散居景観などとの連携・活用を図り、一層の交流人口の増加を目指す。
・農具や民具の使い方などを説明できるボランティアの養成に取り組む。

5．取り組む上で苦労した点、よかった点

○市内外の小・中学校が郷土学習の場として活用している。
○収蔵品が多いこと、リピーター確保のためなどから、展示してある民具は半年周期ほどで入れ替えを行っている。
○常設の民具展示のほか、様々なテーマの企画展等も行っており、中には地域の方からの持ち込み企画もある。